

■堀田正敦 大名、若年寄。幕閣を務めるかたわら、文化事業にも熱心で、自ら動物図鑑を編纂する学者でもあった。

ほったまさあつ

自然真賞道・1755 = 仙台で、藩主伊達宗村の第17子八男に生まれる。幼名は藤八郎。母は側室性善院。

大岡忠光没・1760 = 5歳：

加賀千代句集1764 = 9歳：

田沼意次老中1772 = 17歳：
大原騷動・・1773 = 18歳：

黄表紙始・・1775 = 20歳：中村姓を与えられ、中村村由を名乗る。

天明大飢饉始1782 = 27歳：

田沼意次失脚1786 = 31歳：堀田正富の娘婿となり、_堅田藩1万石の藩主となる。

異学の禁・・1790 = 35歳：_若年寄になり、老中松平定信の寛政の改革を助ける一方、
混浴禁止・・1791 = 36歳：_文化事業に熱心で、学者を厚遇し、著作物の写本を堀田文庫に収蔵して、校訂に努め、

松平定信引退1793 = 38歳：
オランダ 正月・ 1794 = 39歳： *自らも、小野蘭山をブレーンに、日本で見られる鳥類を分類詳説した図鑑「禽譜」と解説書「観文禽譜」を編纂、尾藤二洲の序文を得て、一旦完成を見るが、その後も校訂作業を続ける。
プーロト来航・ 1796 = 41歳：甥の仙台藩主伊達斉村が後継者を正式に決めずに死去した時に、実兄伊達重村の正室観心院や甥の三河刈谷藩主土井利謙と共にその処理に関与し、跡を継いだ伊達周宗の後見役となる。

蝦夷地直轄始1799 = 44歳： *「寛政重修諸家譜」の編纂を企画し、総裁を務めて着手。
伊能測量始・1800 = 45歳：

バグ 刀来航・ 1804 = 49歳：土井利徳・田村村資らと_「観心院六十賀和歌」、
青洲麻酔手術1805 = 50歳：「萩か花すり」をまとめ、
バグ 刀報復・ 1806 = 51歳：3000石加封され、堅田藩1万3000石となる。
ロシア船狼藉・ 1807 = 52歳：蝦夷地へのロシア人侵入を視察するため松前藩へ出立。この年、小野蘭山の孫による写本があることから、これ以前に、貝の博物書「観文介譜」も編纂、「観文獣譜」もまとめていたと思われる。
フェート号事件 1808 = 53歳： *蝦夷地視察記録「松前紀行」を著す。
間宮海峡発見1809 = 54歳：

水野忠成老中1818 = 63歳：

伊能図完成・1821 = 66歳：かつての上司定信とその子定永が白河藩から堀田宗家が治める佐倉藩への転封を画策した際には、佐倉藩主堀田正愛を助けて定信父子と争い、その企てを阻止。

・ ・ ・ ・ ・ 1826 = 71歳：初代堅田藩主堀田正高の旧領の下野国安蘇郡植野村への陣屋替えを命ぜられる。なお滋賀郡堀田領は引き続き支配するが、土豪や堅田郷土が実質的に管轄。

日本外史・・1827 = 72歳：
シーボルト事件・1828 = 73歳：仙台藩を相続した伊達斉邦の後見、病気で政務が執れなくなった佐倉藩主堀田正愛の後見役も務める。
シーボルト追放・1829 = 74歳：3000石加封され、佐野藩1万6000石となる。
富嶽三十六景1831 = 76歳： *仙台藩の儒者桜田欽斎・河野杏庵により「観文禽譜」が訂補され、完成。質量ともに江戸時代を代表するものであるとともに、当時の学問水準の高さを今に伝えている。国事多難と自身の老境による著述作業へ十分専念できないことを嘆きつつ、
鼠小僧磔・・1832 = 77歳：五男正衡に家督を譲って、_致仕し、没した。